

◆28 番（森田卓司議員）

皆さんこんにちは。自由民主党岡山市議団の森田卓司でございます。

きょうは朝から人口減少のことで川本議員も言われましたし福吉議員も言われましたが、それを聞きながらふと私の生まれたところのことを思い出しまして。私が小学校ぐらいのときまでは 14 軒ありましたかね、小字なんですけど。先日帰ったときにもう生活している家は、私も今、建部の平野におりていますし、そういうことを考えるともう 3 軒しかないわけです。それで今、福吉議員が言われたようなモビリティが使えるような地域ならいいんですけど、山の中、中山間というより山間地域でございまして、そういうものが使えない地域であります。都市整備局それから教育委員会の職員さん方は旭川の崩落の関係で皆さん、何回も通っていただいていると思いますが、そういう地域をどうやっていくかというか、もう消滅集落になってしまうような気がします。正月と祭りのときに帰って私もそこに住んでいる方とお話しするんですけど、どうすりゃええんですかねといってもなかなか妙案が浮かばないのが現実でございます。

一方、建部でございますが、ことし認定こども園になりまして初めての運動会が 5 月 27 日に開催されました。園児も多く、中心市街地に比べたら少ないんですけど、まあまあ定員ぐらいいらっしゃって、その中で最初に、去年もそうだったかもわかりませんが、「OKAYAMA！市民体操」を園児と保護者の方と先生と一緒に踊られていまして、一生懸命岡山市と一体感を持つと子どもたちも頑張っているんだなと思ったところあります。そして、ことしは第 1 回目ということで風船を飛ばしました。私も森田卓司と書いて飛ばしたんですけど、（笑声）遠いところでは、聞くところによると群馬県まで飛んでいったそうでございます。私のはどこまで行ったかわかりません。（笑声）選挙区内で落ちているか、途中で爆発しているか（笑声）わからないのですが、誰も電話も何もしてきてくれないので無視されとんかなと思っているところでございます。

そして、6 月 10 日には周辺地域のモデル地域 3 地域の一つに指定されております、河田議員の地元であります御津の宇甘西のホテルまつりが開催され、多くの皆さん、もしかしたらその地域の方よりよそからの方のほうが多いんじゃないかなと思うぐらいたくさんの方が来られておられました。市長にも足を運んでいただきました。そして、ああいうふうに地域がまとまって何かをやろうという姿勢というのはすばらしいと思うし、それができること自体がいいなと思ったところあります。

これから最初に言った人口減少、もう人口減少というより消滅集落になりそうなところでもまだまだ頑張れるところ、そういう地域を抱えている岡山市であります。そういう中で一体感を持ったことをやっていかななくてはならないと私自身思っておりますので、今回の岡山市の一体感と地域の特性についてということで質問させていただきます。

- 1, 岡山市の一体感と地域の特性について。

(1) 岡山市民の日について。

平成 24 年 3 月 22 日に高谷前市長が 6 月 1 日を岡山市民の日と制定すると宣言され、今年で 6 回目を迎えたところです。岡山市が今後ますます発展していくためには市民一人一人が岡山のまちを愛し、誇りに思い盛り上げていくことが必要であるとの考えで、「6 月 1 日岡山市民の日」推進協議会の皆様方が中心となって関連行事を含め本年度もいろいろと企画がされました。この間、当局の議会答弁等で、時には積極的に岡山市も岡山市民の日を盛り上げることに寄与する、また時には行政ばかりが出過ぎるのではなくて等の消極的な発言もありました。もちろん推進協議会との連携を密にすることは重要であると認識しています。

そこでお尋ねいたします。

①関連行事を含め 6 回目の岡山市民の日を終えようとしている今、岡山市としての岡山市民の日への総括と今後の取り組みに対する御所見をお示してください。

②市民の日関連イベントは多く行われているが、肝心の 6 月 1 日に岡山市が主体となっ
て行っている事業が少ないと思うが、御所見をお示してください。

③岡山市が制定した以上、6 月 1 日岡山市民の日を岡山市民が最も一体感を感じる日にすべきだと考えるが、いかがでしょうか。

(2) 桃太郎の日について。

今議会冒頭の提案理由説明で観光振興について述べられています。その中で、10 月 7 日を桃太郎の日と設定するほか、未来へ向かって躍動している都市イメージの浸透、定着を図ることによって岡山市の知名度や魅力を高め、観光客の増加につなげたいと表明されています。各種の調査においても岡山市の知名度は決して高くなく、どちらかといえば低いというのが本当だと思います。

そこでお尋ねいたします。

①10 月 7 日の桃太郎の日は本年だけの設定でしょうか。

②新しい桃太郎ファッションと岡山市出身のタレントを起用した PR 動画の作成についてどのような作品を想定しているのか、お聞かせください。

(3) 御津有線放送施設について。

ソフト事業でもそれぞれの地域でいろいろと特徴のある事業がありますが、ハード事業でも地域で引き継がれている事業があります。御津有線放送施設は、住民相互の連絡を円滑にし福祉の向上に資することを目的として運営されています。同施設は旧御津町時代に設置され、現在でも福祉の向上以外にも災害等多岐にわたり活用されています。しかしながら、設置して長い期間が経過しており、施設の老朽化が進んでいます。

そこでお尋ねいたします。

先ほど申し上げたように現在でも御津有線放送施設は多岐にわたり活用されていますが、老朽化で本来の目的を達成することができない地域もあります。有効活用ができるよう修理等の補助を交付することを考えるべきではないでしょうか。

2, 平成 29 年度旭川ダム管理連絡会議より。

去る 6 月 5 日に平成 29 年度旭川ダム管理連絡会議が開催されました。旭川ダムの管理者、備前県民局ほか国、県の関係者の方、そして旭川ダム下流の町内会長さん等地域代表の方が参加されていました。私は岡山市議会代表という名札が立てられていましたが、総務委員会委員長の立場で充て職での参加であると認識して参加させていただきました。旭川ダムの管理やダムの役割と防災情報について詳しく説明があったところです。そして、最後に地域代表の方との質疑応答がありました。

そこでお尋ねと要望であります。

(1) 質疑応答では河川内のしゅんせつ及び伐木並びに堤防のかさ上げなど地域にとっては切実な課題が出されました。国や県、旭川ダム管理者への質問や要望に対しては担当者から答弁がありましたが、岡山市としてそれらの質問や要望は改めて関係機関に改善を求めるときではないかと考えますが、いかがでしょうか。

(2) 旭川及び支流では粗大ごみなどの不法投棄が多く発生しています。上流で不法投棄されたものが下流に流れるものや、人目が届かないところでの不法投棄に対しての対策はどのようにされているのか、お示してください。

以上で 1 回目の質問を終わります。

御清聴ありがとうございます。(拍手)

◎大森雅夫市長

最初に森田議員おっしゃった宇甘西のホタルまつりへ行かせていただき、確かにすごいにぎわいを感じました。ただ、にぎわいだけじゃなくてですね、地域のリーダーの方が一生懸命頑張っているその様子と、もう一つ思ったのは、岡山にもさまざまな歴史的な地域資源というのがあるんですけど、御津ですよ、ああいうすばらしい自然環境そのものが大きな地域資源なんじゃないかなというようなことも感じた次第でございます。

私は、桃太郎の日についてお話し申し上げたいと思います。

この未来へ躍動する桃太郎のまち岡山のシティープロモーションとして今年度新たに実施する桃太郎伝説創造発信事業では、既成概念にとらわれず未来への躍動感を感じさせる新・桃太郎に岡山市出身のタレント、桜井日奈子さんを起用し、斬新でインパクトのあるデザインによる新たな桃太郎ファッションを制作するとともに、その衣装をまとい岡山のポテンシャルを象徴する MOMO ガールを誕生させ、岡山の桃太郎伝説である吉備津彦と温羅の舞台である吉備津神社や鬼ノ城等を舞台とする PR 動画を制作する予定であります。動画では MOMO ガールと温羅をモチーフとしたうらじゃとがコラボレーションし、実に今回は桃太郎大通りが舞台として出てまいります。これを舞台として活用しながら沿道の店舗等が参加する誘客促進のイベントを展開していくこととしており、全体を通じて鬼カワイイをコンセプトとし若者が共感できる内容にするとともに、うらじゃのテーマでもある共生と融和を事業の柱として位置づけ、桃太郎も鬼も仲間としてまちに変化をもたらす

といったストーリー展開を想定しています。

一体どのようなファッションなのか、一体どのようにまちが変化するのかといったワクワク感を盛り上げるため、秋のおかやま桃太郎まつりの初日に当たる10月7日を桃太郎の日として設定し、動画や桃太郎大通りでのイベント等事業の中身を一斉にお披露目していく予定であり、来年度以降も秋のおかやま桃太郎まつりの初日を桃太郎の日として実施できればと考えています。桃太郎まつりの日がちょっと動きますんで、10月7日と固定するのではなくて、桃太郎まつりの初日というのが皆さんに認識していただくいいときではないかなというのが今の我々の感じであります。

以上です。

◎江田美幸市民協働局長

同じ項、岡山市民の日のお尋ねにお答えいたします。

岡山市民の日は、経済団体など各界からの盛り上がりを受けて制定したもので、市民一人一人が郷土岡山への理解と関心を深め、愛着と誇りを育み、魅力あるまちづくりを進めるきっかけにしようとするものです。これまで岡山商工会議所青年部を中心に経済団体や市民団体が構成された「6月1日岡山市民の日」推進協議会が普及啓発活動を展開し、市といたしましては岡山市民の日になんださまざまな関連行事の開催や広報等を通じてその活動を支援してきており、少しずつではありますが岡山市民の日が市民に浸透してきているものと考えております。

また、曜日の関係もございしますが、議員御指摘のとおり6月1日に開催するイベントが少ないこともあり、今後は6月1日に焦点を当てた各種イベントの実施を庁内各部署に働きかけ市の関連行事をふやすなどして、6月1日が市民にとって一体感を感じられる日となるよう盛り上げていきたいと考えております。

次に、御津有線放送施設についてでございますが、今年度から地域住民の交流を促進しコミュニティの維持発展を図るため、地域行事等に必要な備品の修繕等に対して費用の一部を助成する制度を新たに始めました。この補助制度の対象備品はみこし、物置等の7品目でございますが、初年度でもあり、まずはこの対象備品で進めさせていただきたいと考えております。御理解のほどよろしく願いいたします。

以上でございます。

◎山上晃稔環境局長

平成29年度旭川ダム管理連絡会議よりの項、旭川及び支流での不法投棄に対するの対策はとのお尋ねでございます。

不法投棄ごみの処理につきましては、基本的には土地の所有者や管理者、占有者等が行うことになっており、旭川及び支流に粗大ごみなどが不法投棄されれば、市民や市のごみ対策班等からの通報などにより国や県が処理することとなります。また、不法投棄につき

ましては、廃棄物処理法で厳しい罰則規定があり、警察とも連携しながらの対応となります。

以上でございます。

◎桐野眞二下水道河川局長 同項、旭川ダム管理連絡会議で出された地域からの要望につきましては、放置すると洪水時の円滑な流下を阻害することとなり、越水や浸水被害などを引き起こす要因ともなるものと認識しております。市としましても、地域の安全・安心のために岡山県等の関係機関に地域の思いが届くよう要望してまいりたいと考えております。

◆28番（森田卓司議員）

本来ならここで御答弁ありがとうございますと言うところですが、私が建部町議会議員を1期全部じゃないんですけど3年8カ月か9カ月やらせていただいたときにももらった議員としてのマニュアルみたいなものに、御答弁ありがとうございますと当局に言わんでもええというような、そういうことを言うべきではないというようなことを書かれていたんですけど、岡山市議会に来て皆様言われているので（笑声）御答弁ありがとうございますと言っているわけですが、岡山市議会に来させてもらっているいろんなルールや決め事があります。そのルールや決め事、申し合わせ等に従って岡山市議会が動いていると思うんですが、私自身もそういう申し合わせやルールを破っていることがあるかもわかりません。もしそういうことがあれば先輩議員の皆様方の御教授を受けながら直すところは直していかなくはいけないと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

そういうことで再質問に入らせていただきます。一問一答ですが、そんなにたくさんはしませんから。

岡山市民の日であります、先ほど局長から御答弁がありました。これから本気でやるということなんですけれど、ことしの行事を見ていきまして、こういうパンフレットありますよね。お持ちですね。6月1日にやっている行事というのは、建部の八幡温泉と岡山城天守閣でやっている行事だけなんですよね。これについては、先ほどちょっと言われたんですけど、これでいいと思われているのかどうか、その御感想をお聞かせください。

◎江田美幸市民協働局長

先ほども申し上げました曜日の関係で土曜、日曜のイベントに焦点が当てられないといったようなこともあるかとは思いますが、議員おっしゃるとおり6月1日が市民の日であるということを市民の皆様にご体感していただくためには、6月1日に焦点を当てたイベント等がもう少しあってもいいのではないかと感じておりますので、来年度に向けてそういう働きかけをしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

◆28番（森田卓司議員）

イベントに限ることはないと思うんです。例えばこの八幡温泉なんかは値引きして安くして来てもらって、その来たところできょうは何で安いのかといたら岡山市民の日というのがきょうだから、6月1日だからなんだなというふうなことを感じられると思います。ですから、なかなか民間の企業とかにそれを望むのは当初は無理かもわかりませんので、市としてできる施設があればそういうことを、無料にせよとかそういうことを言うんじゃないですけど、積極的に市有施設を開放するとかそういうふうなことに取り組んでみてはいかがでしょうか。

◎江田美幸市民協働局長 イベントに限らず、おっしゃるとおりまずは市有施設のほうからそういった取り組みができるかということについて働きかけをしてみたいと考えております。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

岡山市が積極的に、もちろんさっき言ったように推進協議会の皆さんとの御相談も必要だと思いますけれど、岡山市が制定した6月1日なのですから、一緒になって頑張ってみんなが一体感を持てるような、岡山市民が一体感を持てるような日にしていただきたいと思います。

次に、桃太郎の日についてですが、市長から御答弁いただきました。私が心配したのは、10月7、8、9日の3日間秋のおかやま桃太郎まつりがありますが、ことしで言うと9日は建部で言えば建部祭りがあります。建部祭りがあって、建部の人とか御津でも多分こういう日に祭りが集中しているのではないのかと思うんですけれど、そういうところの方が来れません。今、人口も減ってどうしてもみこしを担ぐ人、子どもたちも神楽やいろんなことをしてそれを手伝わなくてははいけません。だから、10月7日をそういう日にして盛り上げていこうというのなら、それは来てみることもできるのでちょっと安心したんですけど、初日の土曜日にするということであれば、ぜひ桃太郎の日も岡山市の知名度とか魅力発信の一つの大きなツールとなるように頑張っていたきたいと思います。

それから、御津の有線放送施設についてでございます。

先ほども人口減少ということでお話しさせていただきましたが、このような地域で共有している施設が使えなくなるということは、そこに住んでいる人にとって非常に住みにくい地域になってしまいます。住みにくいということはだんだんと人口減少が進んでいって、若者が流出したりそういうことにつながるのではないかと思います。そこについてはどのようにお考えでしょうか。

◎江田美幸市民協働局長

そもそもコミュニティ活動推進備品の補助事業は、その地域においてコミュニティ活動が円滑に継続的に行われるということを目的とした助成事業であると考えておりますので、そういった意味からも議員がおっしゃったような何かが使えなくなってそのコミュニティの活動に支障が出るというふうなことは避けるべきことであると考えております。

以上でございます。

◆28番（森田卓司議員）

そうですね。それは私と共通の認識ということで。

市長、きのうの東原議員の周辺地域と中心市街地の質問でVSじゃなくてどっちも一緒によくならなくてはいけないと、一体感を持ってやるように考えていかなくてはいけないというような答弁をされていたと私自身は思っているんですけど、違っていたらそれは違うと言っていただければいいんですけど、そういう中で岡山市民全体でそういう思いを持つことは必要であるので、岡山市民の日とか桃太郎の日とかいろんな部分でやればよいと思うんですけど、それは心の、ハートの問題であって、いろんな部分で政策的なことになると辛香を挟んで北と南では全く違うと思うんです。きょう、福吉議員は南のほうのことを言われましたけど、私が言うのと同じ思いではあっても、ああいう車は僕が言っているような地域では走れないですし、そうかといって南では南の課題があり、北では北の課題があると思っております。そういう中で政策的に分けて考えなければならないのではないかと思うんですけど。ちょっと膨らませ過ぎですかね、大丈夫ですよね。そういう部分ではどのようなお考えをお持ちでしょうか。

◎大森雅夫市長

森田議員の今のVSで考えるんじゃないというVSというのは、私の言葉では対立構造というふうに言ったんですが、いわゆる中心部でいろんな事業をやっているということがありますよね。何でもそうなんですが、例えば今動いている西川筋の歩行者天国で楽しんでいただいている方、これ中心部の方もいらっしゃると思いますけど、当然ながら周辺部の方、また岡山市外の方も楽しんでいる。だから、中心部でやっていることが中心部のためだけであるわけではないんですよという意味でそういう対立構造で考えないでいただきたい。それは随分いろんな議員とお話ししている中でおわかりいただいているかなと思っています。

一方、周辺部のところをどうするかというのは、東原議員のときにお話ししたのは、周辺部の方々が不安に思っているということはもうそのとおりだろうと私はそう思っている。不安の要素というのを整理してみるとどういうことになるんだろうかということ、経済面の問題もあるでしょう、それから生活面の問題もあるでしょうという話をさせていただいた。今の森田議員は、その生活面の問題にしたって北と南では違うじゃないかということをおっしゃっているということですね。私もそのとおりだと思います。だから、生活交通一

つについてもそれぞれのエリアごとで地域の方々と相談しながらやっていっているところであって、我々、周辺部というと一律に考えていくということを申し上げたことは多分うちの局長を含めて誰もいないんじゃないかなと思っております。地域の方々と相談しながらどうやるのが一番いいのか、そこは模索していただきたいと思っております。森田議員もこの前の宇甘西のホテルまつりに行ったときにはいろいろな地域の方の中心におられたのを見たところでもあります。そういう情報もいろいろいただきながら、いいものにさせていただければと思っております。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

ありがとうございます。ありがとうございます言わん言うたのに。

今、御津、建部は支所がありまして、合併地域にも支所があって、道路等が陥没しておるとかそういう部分に対しては速やかに対応していただいているところですが、このようなハードの施設に対してすぐに直さにやいけんというときに出すお金がないんですね。だから、僕は区長にそういう権限と、財源という言葉がいいかどうかわかりませんがそれを与えて、区長がそこをすぐ直さにやいけんがなというふうに使えるようにしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎佐々木正士郎副市長

お答えいたします。

まず、区のいわゆる予算という意味で言えば、これはもう何度も議会でもお答えしていますけれども、平成27年度から直接要求というスキームがございますので、その区のいわゆる地域づくりとかまちづくりにとって必要な予算というのは、区のほうで予算要求していただくということだと思っています。

それから、一定の枠でという形になると、そこは予算についてもある一定の積算があってそれをどういうふうにするのかということで予算というのは形づくっていくのかなと思っておりますので、全体でもし必要なものがあるというのは、それは全体の例えば維持管理なり何なりの中から手当てしていくというのが原則ではないかなと思っております。

以上でございます。